

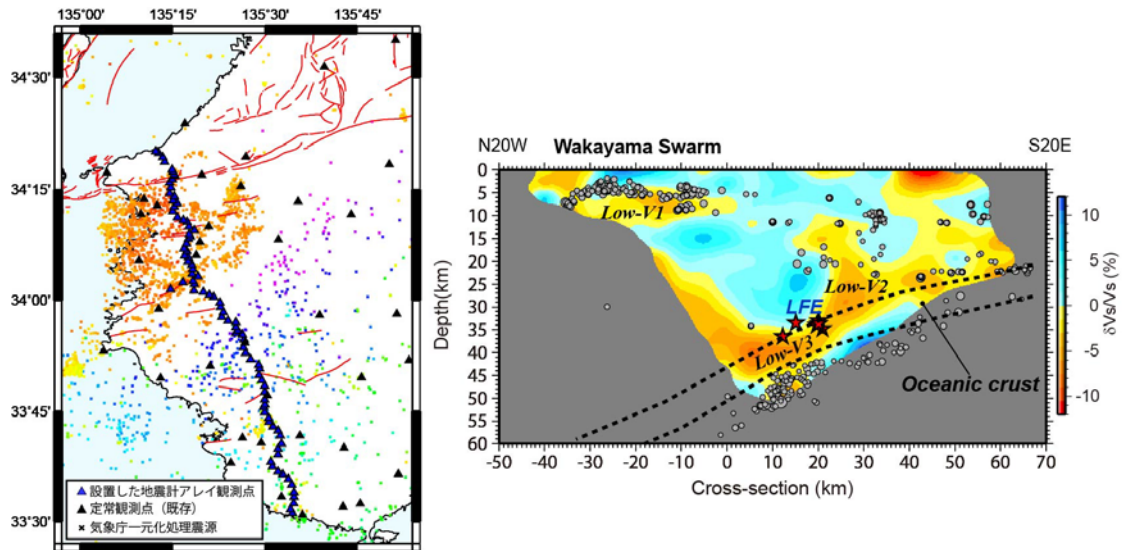


図 10. 和歌山地域の地震波速度構造（東京大学地震研究所 [課題番号：1412]）。稠密臨時地震観測点の分布（左）と測線直下の S 波速度構造の深さ断面図を示す（右）。灰色○印は測線から±10km 以内の再決定震源，赤☆印は再決定された低周波地震の震源を表す。

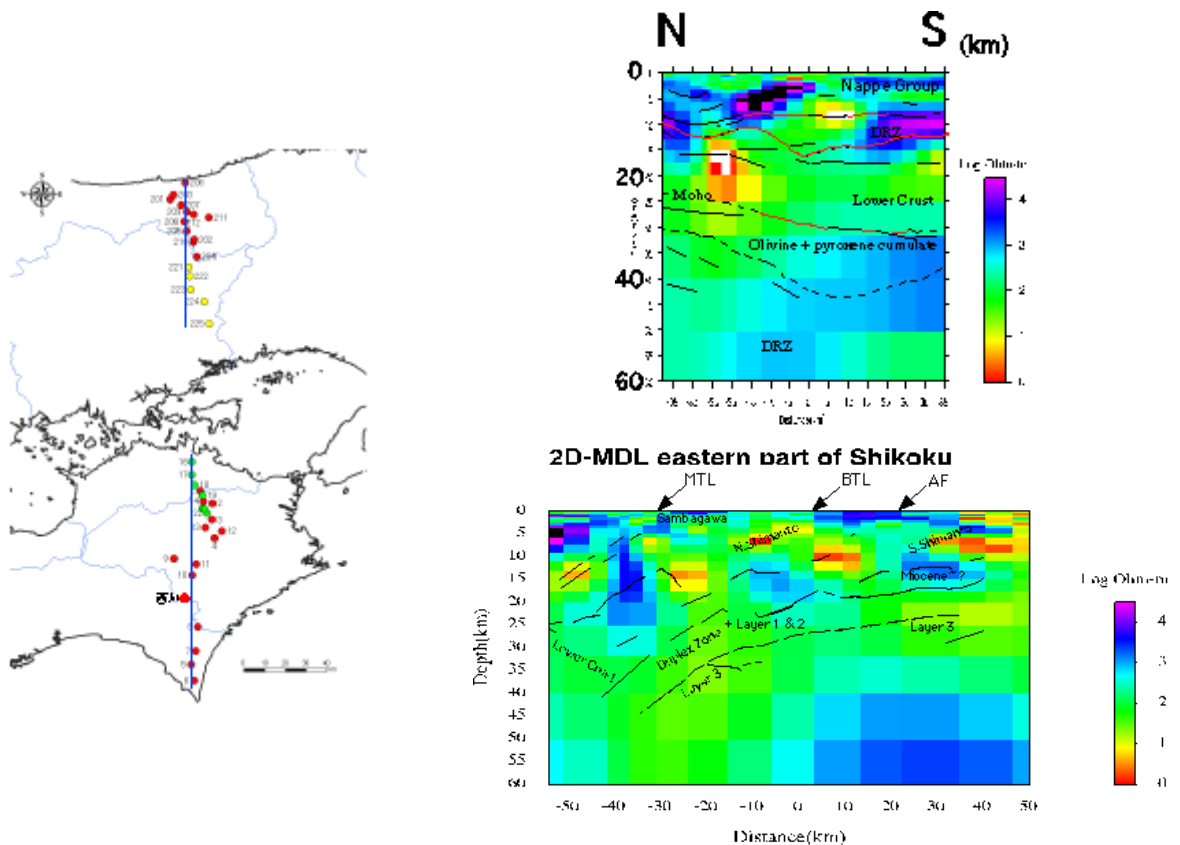


図 11. 中国東部・四国地方東部における広帯域 MT 観測による比抵抗構造（鳥取大学 [課題番号：2001]）。佐藤他 (2005) の推定した地震波反射面及び地質解釈を重ねて示す。左：観測点点配置図。右上：中国東部の 2 次元比抵抗構造。右下：四国東部の 2 次元比抵抗構造。

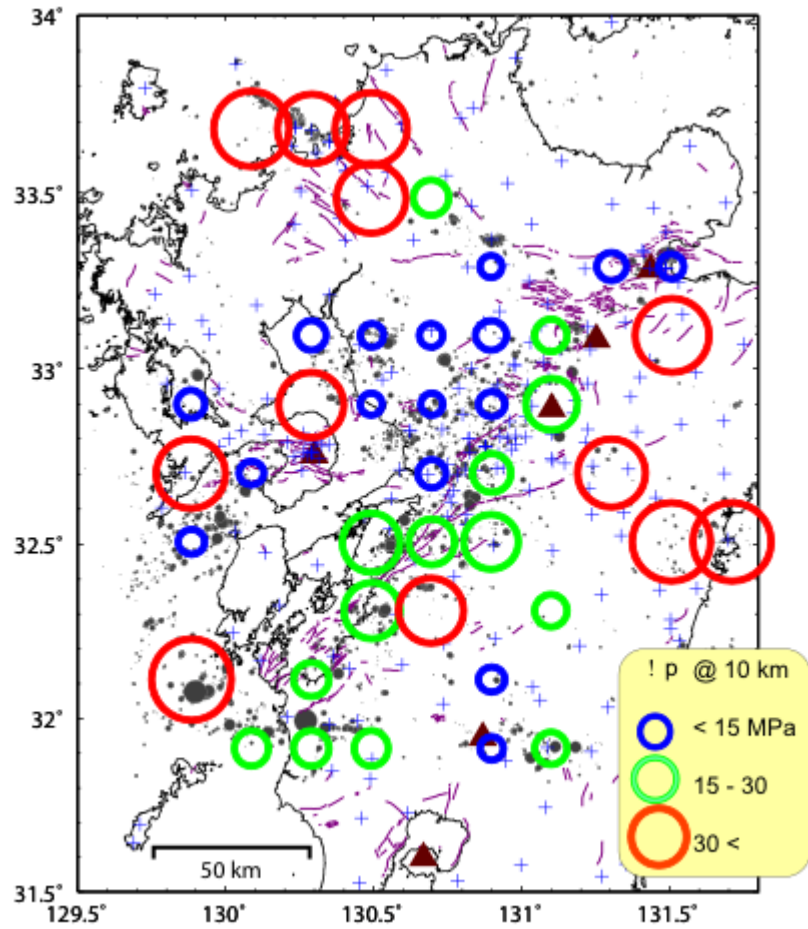


図 12. 応力テンソルインバージョンによって推定された深さ 10km の地殻内の間隙水圧の分布（九州大学 [課題番号：2201]）。間隙水圧はグリッド毎の「平均間隙水圧－静水圧」で示す。